

令和3年3月8日

## 令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人 山口学園  
長崎公務員専門学校  
学校関係者評価委員会

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 関連業界等関係者（公務員）
- ② 関連業界等関係者（公務員）
- ③ 卒業生
- ④ 卒業生
- ⑤ 教育に関し知見を有する者
- ⑥ 教育に関し知見を有する者
- ⑦ その他校長が必要と認める者
- ⑧ その他校長が必要と認める者

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和2年2月22日（書面決議）

第2回委員会 令和2年3月7日（書面決議）

#### 3 学校関係者評価委員会報告

別紙：「関係者委員会の評価、意見及び提案」のとおり

以上

## 別紙 関係者委員会の評価、意見及び提案

### I 自己評価に対する評価について

#### 1) 評価項目別取組状況

1.教育理念・目的、育成人材像	意見なし
2.学校運営	意見なし
3.教育活動	<p><b>3-3</b>「各科目の到達目標、授業計画、成績評価の基準等は明確にしているか」について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度追加されたことは評価できる。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、授業進度の調整に苦慮されたことと拝察する。</li><li>・授業改善のためのアクティブラーニングの視点も必要。</li></ul> <p><b>3-4</b>「授業評価の実施・評価体制はあるか」について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後の状況によっては動画配信による授業も必要不可欠になると思われるため、環境整備が必要と考える。</li></ul> <p><b>3-5</b>「教職員の資質向上のための取組が行われているか」について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・このような状況下で新たな資質向上の取組を企画できなかったとしても、様々な取組の中で教職員の主体性や協調性が向上したことは評価できる。</li><li>・教職員の資質向上のための取組については、知識向上のためのセミナー参加・教えるためのスキルアップへの研修会参加などを定期的に行ってみては？主体性とか協調性も資質ではあるが、評価するのは難しいと思う。</li><li>・教育職としての資質向上のためには「教職教育学」の研修が有効だと思われる。</li><li>・最低でも <b>B</b> 評価で良いのではないかと思う。</li><li>・コロナで動画配信など例年通りにはいかない中で、努力や工夫をしてもらえて学生も保護者も心強かったと思う。</li><li>・新たな資質向上の企画はできなかったものの、新型コロナウイルス感染症対策として、動画の配信を行う等、時機を捉えた対応ができています。企画を出すことは大事であるが、臨機応変に対応することの方が優先順位は上であり、評価としては <b>B</b> が妥当である。アンケートを見たが、動画配信に比べ授業のほうが良いという意見が多いので、改善できる点は取り組んでいただきたい。</li><li>・ <b>Facebook</b> ・その他 <b>SNS</b> での発信が目に入った。ホームページについては学生さんがよく活用されると思うが、コロナウイルスの中工夫されているのが伝わってくる。</li><li>・新型コロナウイルスの影響で教育活動に重点を置いた取組自体が資質向上の取組であり、評価 <b>C</b> を <b>B</b> 以上としても良いと考える。(目指すべき教職員像 1、3、4、6 に該当)</li><li>・ <b>C</b> 評価より高い評価でいいと思う。時代と環境の変化に対応していると思う。</li></ul>

4.学習成果	<p>4-1「目標とする1次合格率が達成できたか」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値上の判断として、Bの評価は妥当と考えるが、100%達成はできないことではないかと思う。学校の志の高さに共感するところではあるが、せめて、95%～100%を目標とするなど、幅を持たせることも考えてはどうか？</li> <li>・1次合格率100%設定には無理があると思う。まず、90%で設定し、達成したら翌年91%と目標を上げてはどうか？昼間部突破率も同様</li> </ul> <p>4-2「目標とする突破率（最終合格者数/1次合格者数）が達成できたか」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習の前に「社会人基礎力」の視点から自己分析をさせる。</li> <li>・公務員試験合格が最重要課題と考える。その中で1次合格率が昨年に比べ低下したことは残念である。メンター制度の導入をはじめ新たな取組が突破率90%を達成できることを期待する。</li> </ul> <p>4-3「長欠及び成績不振による退学率の低減が図られているか」について</p> <p>相談指導経過記録を見て、親としてはありがたく思う。この項目に取り組んでいることが素晴らしいと思う。</p>
5.学生支援	<p>5-4「障がい等を理由とする配慮希望者に対する支援体制は整備されているか」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目の文中に「合理的配慮」という法律用語を使う。</li> </ul> <p>5-5「保護者と適切に連携しているか」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携が改善されているようでよかったと思う。学校をとりまく環境や人々の感情が不安な中すごいと思う。 B⇒Aでよいのではないか</li> <li>・昨年度のB評価から今年度A評価に改善できたことは評価できる。SNS（インスタグラム等）の開設による情報発信は効果が期待できる。</li> </ul> <p>5-6「卒業生への支援体制はあるか」について</p> <p>1つも合格できず卒業していく学生のことを考えると素晴らしい取り組みだと思う。</p>
6.教育環境	意見なし
7.学生募集	意見なし
8.財務	<p>8-2「予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算と決算の乖離が大きすぎるが、原因が明確なので、次年度に活かしていただきたい。</li> <li>・学生の増加等に伴う収入増であり、また適切に補正措置を5月に行っている。評価CをB以上として良いと考えます。</li> <li>・財務状況が健全すぎて素晴らしい。健全な財務状況かと思われるため、乖離はあるが、評価を上げていいと思う。</li> </ul>

9.法令等の遵守	<p>9-2「個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価については、Aで妥当。ただし、「個人情報保護規定」の名称についてだが、「規定」とは、本来、条文の意味を指す内容で使うので、「規程」等が正しい使い方ではないかと思う。</li> </ul>
10.社会貢献・地域貢献	意見なし

## 2) 本年度の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度のB評価から今年度A評価に5項目が改善されており、十分に評価できる。しかし、学修成果（進路保障）を考えると、“B：概ね達成”が妥当であると判断する。</li> <li>・Bとしての評価はそれとして理解する。しかし、教職員の資質向上のための具体的取組（セミナー・研修会等の参加）と学習成果（合格率）の見直しをしてはどうか？</li> <li>・今年も謙虚すぎではないかと思った。</li> <li>・評価Aの項目が前年度を大きく上回っており、理事長をはじめ、先生方等の努力が実を結んだ結果であり、大変うれしく思う。しかしながら、【4.学修成果】については、目標の数値設定のあり方については検討の余地があるのではないかと思う。今年度の評価についてはBで妥当であると考えている。</li> </ul>
--

## 3) 今後取り組むべき課題（改善策）

<p>学生に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における指導体制（リモートによる授業やSNSの活用など）の整備、実施に期待する。SPI対策や特に成績下位者への指導の充実を望む。</li> <li>・実現可能な目標を設定すること（例：過去3年平均の2～5%アップくらい）</li> <li>・「具体的な取り組み方法」として、</li> </ul> <p>①指導方法として、アクティブラーニングの視点が求められるのでは？</p> <p>②面接対策として、「社会人基礎力」の視点から自己分析をさせておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4-1、4-2は目標設定を変更しないと毎年「今後取り組むべき課題」に記載されると思われる。例えば、目標を前年度以上や100%→95%への変更など検討してよいと思う。景気により公務員の受験倍率も変動するため、常に固定した目標より、社会の状況に応じた目標設定も考えられる。</li> </ul> <p>教職員に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修プログラムに「教職教育学」のようなものの研修を入れたらどうかと思う。</li> <li>・オンライン授業、Zoomの活用などの実績を教職員間で共有するうえで、グループワークに取り組んだなどの具体的に取組んだ事例を教えてほしい。これからの1～2年はこれらの活用がどのような方向に向かうのか見ていく必要があると感じている。</li> </ul>
---

#### 4) 学校運営の改善に関する提言

・コロナ禍において **36** 項目の目標達成に真摯に取り組まれている。しかしながら、学修成果については昨年度と比較して、低下したことが残念であり、今後の重点課題であると考え。メンター制度の導入や、成績下位者への指導、リモートを活用した授業、**SNS** 等を利用した情報発信など、今年度の取組を工夫・改善し、次年度に活かすことで目標値に少しでも近づくことを期待する。

・技術習得を目指す、専門学校とは違い、人間力（知識・人間性等）を育む学校として非常に難しい点が多々あると思う。しかし、継続的に自己評価制度を行うことにより学校運営の質の向上となる。形は変わるかもしれないが、引き続き自らを見直す機会を設けてほしい。

・前年度に評価が **B** の項目等について、常に改善することを考え実践している点は、特筆すべき点だと思う。今後も頑張ってもらいたい。また、新型コロナウイルス感染症が落ち着くのに未だ時間がかかる。感染症対策についてもしっかり行い、感染者を出さない努力を学校として行っていただきたい。

・動画配信について長所・短所を整理し活用できれば教育効果が上がると思う。ただし、盗用・無断転用対策も必要となる。引き続き、教職員が連携し、人材育成を行っていくことに期待する。

・コロナの中、**Facebook**・テレビ・その他 **SNS** での募集のよびかけなど、目に飛び込んでくるものがあり、うれしく思った。1~2 年位のじっくり我慢の待ち時か、挑戦へのチャンスなのか先は読めないが、このような時こそ、資質向上の具体的な取組が必要だと思われる。本来、教職員同士楽しく語らうだけでも、人間としての力を支えてきたところもあろうかと思う。

日常がある意味、刻々成長のチャンスでもあったのですが、この時期改めて年に何回とか、1 人何回とか数値にして研修予算も発表していくと成就感も達成感も増すのではないかと思われる。